

特集 芝生職人、鈴木晋一

多くの人がスポーツを楽しむ開成水辺スポーツ公園。
その足元に広がる芝生には、とある芝生職人の熱意や思いが込められていました。

問 生涯学習課 ☎84-0325



開成水辺スポーツ公園

開園時間：8時30分～17時
休園日：毎週木曜日
電話番号：0465-83-1331
住所：開成町吉田島 2710



開成水辺スポーツ公園（以下、「水辺」を訪れると、真っ先に目に入るのは、酒匂川のほとり一面に広がる、青々とした芝生ではないでしょうか。きれいに整えられたパークゴルフ場のグリーンに、ふかふかの芝生が気持ちいい遊具広場。特にサッカー場の芝生は、プロサッカー選手が試合をするスタジアムと同じものを使用しています。利用者が気持ちよくプレーできるように、常に最高のコンディションを保つよう念入りに手入れされています。

今月は、水辺の芝生の管理一切を任されている芝生職人、鈴木晋一さんに注目しました。芝生に込められた熱意や思いに迫ります。

子どもたちには 本物に 触れてもらいたい



①雑草を丁寧に取り除きます。小さな雑草も見逃しません。②③芝生の手入れに欠かせない芝刈り機。週2回程度、芝生を刈ります。

夢だった仕事

小さい頃からサッカーが大好きな鈴木さん。幼心に、サッカーに関係する仕事に就きたいと思っていたそうです。「高校の先輩から『サッカー場をつくる仕事をしないか』と誘われたことがきっかけで、この世界に入りました。夢であったサッカーに関する仕事ということもあり、どっぶりつかりましたね。」

プロも認める芝生

鈴木さんの芝生への熱意は、水辺でも変わりません。「こだわりは、芝生が平らであること。芝生は、見た目では、でこぼこしていても気づきませんが、プレーするとすぐに分かります。芝生が原因で利用者がけがをしないよう、細心の注意を払っています。」と語ります。

また、特にサッカー場は利用者が入替わりごとに手入れし、常にベストな状態を保っているそう。そのハイテクオリティな環境から、湘南ベルマーレの選手も練習場として利用することがあります。「以前、ある高校のサッカー部が全国大会の前に天然芝に慣れるため、水辺で練習をしました。そのチームが全国一位になった時は嬉しかったですね。」と話します。

「やるしかない！」

鈴木さんが手塩にかけて育てている芝生は、酒匂川沿いという立地上、過去に2回、洪水で水に浸かりました。「心にぽっかり穴が開いたような気持でした。でも、『とにかくやるしかない』と自分を奮い立たせ、復旧にあたりました。」鈴木さんの迅速な対応や、ボランティアの皆さんの協力もあり、浸水してから約2か月後に水辺は再開しました。

誰もが気持ちよく過ごせる場所に

最後に、利用者への思いを伺いました。「誰もが快適・安全にスポーツを楽しめる環境を今後も維持していきたいです。また、子どもたちには、プロと同じ環境でサッカーをしてほしい。将来、このサッカー場からプロサッカー選手が生まれたい嬉しそうです。」と目を細めました。

鈴木 晋一さん

湘南造園株式会社に所属。
平成23年から開成水辺スポーツ公園の芝生の管理を任されている。また、開成町だけではなく、他市町の公園や校庭など様々な施設の整備にも携わっている。

